

# 林いさお通信

ピカいち!!のまちづくり



No.128 今年の10大ニュース  
平成27年12月

林いさお後援会



## 12月定例議会 手話言語条例可決

12月定例議会は、11月27日から12月10日までの14日間にわたり開催され、すべての議案が可決され閉会となりました。

本定例会では、三芳町手話言語条例を上程させていただきましたが、全会一致で可決されました。

本条例は、手話は言語であるとの考えに基づき、手話をコミュニケーション手段の一つとして位置づけ、住民相互の意思疎通を円滑にすることで、住民の人格と個性が尊重される心豊かなまちづくりを実現することを目的としています。

障害者の権利に関する条約や障害者基本法においても、すでに手話は言語として位置づけられています。

私も一昨年、手話を学び手話の歴史や文化を知り、ろう者と手話でコミュニケーションを図る中で「手話は言語である」ということを身を以て学ばせていただきました。

しかし、障害には様々な障がいがあります。現在、三芳町では、『あいサポート運動』を推進しています。「障がいを知り共に生きる」心豊かな共生社会の構築を目指しています。

来年は、障害者差別解消法が施行されます。今後、こうした流れや『あいサポート運動』の理念に基づき、心豊かな共生社会実現に努力して参ります。

# 2015 三芳町 10大ニュース

## 1 川越いも振興会天皇杯受賞

11月23日、第54回農林水産祭が開催され、三芳町川越いも振興会がむらづくり部門で天皇杯を受賞。320年前から続く平地林の落ち葉を堆肥にすき込む循環型農法を継続し、一方で、6次産業化に取り組む等攻めの都市農業が高く評価されました。



## 2 広報みよし内閣総理大臣賞

6月5日、第52回全国広報広聴研究大会が長野県長野市で開催され、広報みよしが、広報コンクールの内閣総理大臣賞を受賞し日本一になり、銀杯が授与されました。今後も広報広聴活動を通して町の魅力を発信していきたいと思えます。



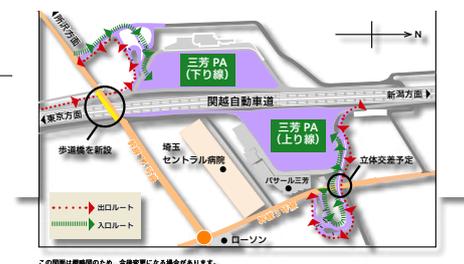
## 3 藤久保3区防災担当大臣表彰

9月2日、三芳町藤久保第3区自主防災会が、山谷えり子防災担当大臣から防災功労者表彰を受賞しました。創意工夫をこらした多彩なメニューの防災訓練や視察研修を行うなど、先進的な自主防災活動が評価されたものです。



## 4 三芳スマートICフル化事業決定

7月31日、国土交通省から三芳スマートICのフルインター化・車種拡大の事業着手決定が発表され、平成30年度までに整備することを目標とし、事業が進むことになりました。歩道整備や交差点改良も行い、周辺道路の安全を確保して参ります。



## 5 埼玉緑のトラスト14号地決定

7月23日に藤久保の平地林（三芳町役場周辺の緑地公園を含む雑木林3.7ha）が埼玉県の緑のトラスト保全第14号地に決定。ご寄附を募り、埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を財産として住民や企業の皆さんと保全していきたいと思えます。



## 6 インディアカ「ひまわり」世界4位に

8月25日から、さいたま市で開催されていたインディアカ世界大会で、三芳町のチーム「ひまわり」が4位となる快挙を成し遂げました。2年後はポーランドで開催予定です。次回出場に向けて皆で応援したいですね。



## 7 三芳町消防団消防庁から表彰

三芳町消防団が消防庁長官より表彰旗を授与されました。全国で40機関、埼玉県では三芳町消防団のみです。昨年、埼玉県初の機能別消防団の発足始め地域での消防団活動をご評価いただいたものです。これからも地域防災の中核として期待しています。



## 8 健康長寿プロジェクト

埼玉県の「健康長寿埼玉モデル事業」を活用し、「食べて！歩いて！健康長寿！」事業を開始。町ぐるみで「毎日1万歩」を目指し1000人規模でのウォーキング、特産の三芳野菜を使った食育の推進など栄養面からも健康をサポートするものです。



## 9 中央公民館・給食センター完成

5月3日、こけら落としが行われ15日から供用開始となりました。地元の上富囃子保存会、北永井囃子保存会、上富小郷土芸能保存クラブの競演、三芳中学校吹奏楽部、三芳小学校鼓笛隊の合同演奏など地域の文化芸術が披露されました。



## 10 第3保育所完成

第3保育所・みどり学園が竣工し、8月24日から保育を開始しました。新しい第3保育所は、待機児童ゼロを目指し、定員を120名から140名に、また温もりの感じられるように室内を極力木質化した施設となっています。



## その他11～20のニュース

- ⑪デマンド交通運行開始（7月）
- ⑫15年ぶりに、こども議会開会（1月、12月）
- ⑬ふるさと納税開始（10月）
- ⑭パスポート業務開始（10月）
- ⑮栃木県上三川町と災害時相互応援協定締結（11月）
- ⑯埼玉県より個人住民税市町村表彰（10月）
- ⑰交通死亡事故ゼロ1000日達成（現在1185日更新中）
- ⑱上島三介氏シラコバト賞受賞（11月）
- ⑲町有施設屋根貸し太陽光発電事業開始（●月）
- ⑳藤久保土地区画整理地内に3公園がオープン（●月）

：その他・プレミアム付商品券の販売、広報みよし5言語で配信開始、吉澤ひとみさん広報みよし一日編集長、元三芳町長林孝次氏名誉町民に。



# 一灯照隅



絵:長谷川 梨子

今年を振り返ると、うれしい話題が多い年でした。あらためて住民の皆様、各団体の皆様に三芳町はしっかりお支えいただいていると感じました。

『一灯照隅 万灯照国』という言葉があります。一つの灯火を掲げて一隅を照らす。そうした誠心誠意の歩みを続けると、いつか必ず共鳴する人が現れてきます。一灯は二灯となり三灯となり、いつしか万灯となって国をほのかに照らすようになります。

今年の三芳町は、一人一人が、それぞれの団体の皆様

一灯を掲げ一隅を照らし続けてきた結果、町全体がほのかに輝き始めてきたのだと思います。

そして、天皇杯や銀杯、各賞の受賞の陰には地道な努力があったのだと思います。これも私の好きな言葉です。泰山は土壤を譲らず、よく其の高きことを成す。河海は細流を厭わず、よく其の深きことを成す。『和漢朗詠集』

泰山はわずかな土の塊を積み上げてきたので、このよ

うな高い山となった。黄河や東シナ海はどんな細かい流れも受け入れたので、あのような深い海や川となった。

この度の荣誉ある賞を受賞された皆様方に心から敬意と感謝の意を表すところであります。

今年も残すところ後わずかになってきました。この1年間町政進展の上に「尽力いただいた皆様方に心から感謝申し上げると共に、私自身、この1年間をしっかりと振り返り反省をし、新たな年を迎えたいと考えています。



農林水産祭むらづくり部門で下賜された天皇杯



内閣総理大臣から授与された銀杯

※公職選挙法により年賀状等年始の「挨拶は遠慮させていただきます。」